

キャリア教育単元計画

福山市立新市小学校

学年	第 2 学年	教科等	国語	単元名	こんなもの見つけたよ				
連携企業等		読売新聞社		単元時数	全 8 時間				
単元のルーブリック	評価の観点		知識・技能		思考・判断・表現			主体性	
	資質・能力				自己表現力			チャレンジ&チェンジする力	
	A		句読点の打ち方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。		経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にして文章を書いている。			構成を粘り強く考え、学習の見通しを持って、組み立てを作り、最後まで意欲的に書こうとしている。	
	B		句読点の打ち方、かぎの使い方を意識して文章を書くことができる。		文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き方を工夫している。			構成を粘り強く考え、学習の見通しを持って、組み立てを考えようとしている。	
	C		句読点の打ち方、かぎの使い方を意識して文章を書くことができない。		文と文の続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書くことができない。			構成を粘り強く考えることに積極的ではない。	
次	時	学習活動	留意事項	○評価の観点 理・表・子は重点			評価方法	他教科等関連、 企業連携等	
				知	思	主			
1	1	○学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。	・町探検で見つけたおもしろさや知ったことを他のグループの友達に伝えたいという思いやこれから学習していきたいことを全体で確かめることで、学習の見通しをもって単元を進めることができるようにする			○	ノート 発言		
	2	○町探検で見つけたもっと知りたいことをもとに、自分が調べたいことを決める。	・「なぜ知りたいのか」を問う発問をすることで、自分が一番調べたいことを選ぶことができるようにする。			○	ノート 発言		
	3	○さらに詳しく調べるための方法について考える。	・インターネットやインタビューなど様々な方法が出る中で、どれが一番「もっと知りたい」目的に合っているのか考えることができるようにする。			○	ノート 発言		
	4	○地域や施設の方にインタビューする仕方について考える	・読売新聞社の記者の方に来ていただき、インタビューの仕方やメモを取る時のコツについて学ぶ。(出前授業)	○			ワーク シート 発言	出前授業(読売新聞社)	
			○2回目の町探検に行き、実際にインタビューをする。(生活科)						生活科「わたしの町発見」
2	5	○2回目の探検で見たことや聞いたことをもとにして、書きたいことの中心をふくらませた詳しいメモを書く。	・見たことや聞いたことを短冊1枚に1つ書くことを確かめることで、次時の組み立ての際にメモの短冊を動かして組み立てを考えることができるようにする。			○	ノート 発言		
	6	○メモを比べながら必要な事柄を選択し、構成の検討をする。	・自分が考えた順序とその理由の視点を設定し交流する時間を設定することにより、自分の考えをより確かなものにできるようにする。				ワーク シート 発言		
	7	○組み立てたメモをもとに文章に書く	・モデル文を使って聞いたことを表す表現の仕方について確かめることで、聞いたことを正しく書き表すことができるようにする。			表 ○	ワーク シート 発言		
	8	○自分の書いた文章を読み直して推敲し、発表の練習をする。	・丸、点、かぎが正しく使われているモデルを示すことで、自分の書いた紹介文を読み直すことができるようにする。	○			ワーク シート		
			○見つけたものや調べたことについてグループごとに発表会行う。(生活科)						生活科「わたしの町発見」

